



第204号 平成30年11月20日

市議会だより



■主な内容

- 9月定例議会の概要
- 主な議案審査状況……………2
- 議決一覧……………7
- 一般質問……………9
- 高校生対象議会報告会の概要…15

8月22日に高校生対象議会報告会
ティーンズ ミーティングを開催し
ました



市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のホームページをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



9月定例議会の概要

9月定例議会を9月7日から10月5日までの29日間の期間で開催し 鈴鹿市一般会計補正予算案など33議案を可決しました

9月定例議会初日の7日には、市長から「平成30年度鈴鹿市一般会計補正予算（第1号）」など20件の議案が提出され、提案説明が行われました。また、「鈴鹿市手数料条例の一部改正について」の議案は提案説明の後、委員会に付託し、産業建設委員会で審査を行いました。

18日には、付託議案について産業建設委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、可決しました。また、その他の提出議案に対する質疑を行いました。18日から25日までの5日間は21名の議員が一般質問を行いました。

また、25日には、議案19件を委員会に付託し、市長から追加提出された「鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について」の議案に同意することを決定しました。続いて、「平成31年度税制改正における自動車関係諸税の見直しに関する請願書」など5件の請願を委員会に付託しました。26日・27日・10月1日・3日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

9月定例議会最終日の10月5日には、付託議案について各委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、議案19件はいずれも可決しました。続いて付託請願について各委員長から審査結果の報告があり、請願5件はいずれも採択しました。また、委員会発議案2件および議員発議案3件の意見書案について提案説明の後、いずれも可決しました。最後に、市長から「鈴鹿市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について」など2件の議案が追加提出され、いずれも同意することに決定しました。

各委員会での主な議案審査状況

文教環境委員会

議案第44号～議案第46号 工事請負契約の締結について

- AGF鈴鹿体育館大規模改修工事 8億1,324万円
- AGF鈴鹿体育館大規模改修電気設備工事 2億3,112万円
- AGF鈴鹿体育館大規模改修機械設備工事 3億174万1,200円

（概要） AGF鈴鹿体育館（江島台一丁目）について、施設の長寿命化などを目的とした改修工事の契約を締結しようとするもの。工期は平成31年（2019年）12月6日まで。



質疑

この改修工事による施設の長寿命化の見込み年数はどの程度か。また、改修後トレーニングルームは引き続き運営するのか、トレーニング器具の更新は行うのか。

答弁

施設の長寿命化については、25年間を目途に考えている。トレーニングルームは引き続き運営する。トレーニング器具については、多くを更新する予定である。

地域福祉委員会

議案第47号 工事請負契約の締結について

○市立西条保育所建築工事 4億662万円

(概要) 市立西条保育所の新築について、建築工事の契約を締結しようとするもの。工期は平成31年(2019年)9月30日まで。低年齢児を対象にした内園庭の設置、一時預かり保育や病後時保育を実施するほか、市内公立保育所の保育士の研修や会議の場としても使用できることが特徴。

質疑

設計において、バリアフリー対応、アレルギー対応はされているのか。また、男性用トイレは設置するのか。日の当たりにくい北側の保育室への配慮はされているのか。

答弁

バリアフリー対応については、三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例に基づき、園児はもとより障がい者、高齢者などが利用しやすい仕様としている。保育室、テラスなども段差がない設計である。アレルギーのある園児の給食は、専用スペースで調理し、食材の混入を防ぐ。シックハウスなどの対応も十分に行う。

職員トイレは個室のため、男女ともに利用できる。北側の保育室には、内園庭を設けることで、日照を取り入れる設計とした。



産業建設委員会

議案第57号 鈴鹿市手数料条例の一部改正について

(概要) 今年6月27日に公布された建築基準法の一部改正に伴い、建築の許可などの申請に対する審査にかかる手数料の新設等を行おうとするもの。

質疑

新設される建築基準法第43条第2項第1号の特例認定にはどのような場合が該当するのか。

答弁

建築物を建築するためには建築基準法上の道路に接する必要がある、これを満たさない場合には、特例の許可を受ける必要がある。今回の建築基準法の改正により、従来、特例許可を受ける必要があった一部の場合について、建築審査会の同意を要しない特例認定でよいとされた。具体的には、4メートル以上の農道に接している200m²以下の一戸建ての住宅などが該当する。

予算決算委員会

予算・決算の審査については、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、それぞれの所管に属する予算・決算について詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

議案第49号 平成29年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

○すずか応援寄附金推進費 平成29年度決算金額 1億3,718万1,186円

(概要) ふるさと納税申込みサイトの運用のほか、寄附金の入金管理や、返礼品の配送管理などの包括業務を委託した経費。

質疑

すずか応援寄附金推進費に返礼品の代金なども含まれているのか。

答弁

株式会社さとふるに運営を一括代行業務委託しており、委託費用の中に返礼品の代金（寄附金額の4割以内）や、返礼品の配送料なども含まれている。

寄附金総額の約6割以内で事業経費を賄えるように運用している。



文教環境分科会

議案第38号 平成30年度鈴鹿市一般会計補正予算（第1号）

○小中学校の施設保全に関する修繕費及び改修工事費 8,014万円

(概要) 大阪府北部地震で発生したブロック塀の倒壊による死亡事故を受け、児童生徒の安全確保を図るため、安全性を確認できないブロック塀などの改修工事を行うとする経費。（小学校17校 7,288万2千円、中学校3校 725万8千円）

質疑

ブロック塀を点検した結果、改修が必要となった原因について分析を行ったのか。

答弁

公共施設のブロック塀について、施設管理者・市職員が目視による外観検査を行い、ブロック塀の高さや厚さ・控え壁などを検査し、点数化して、庁内で情報共有を行った。小中学校においても、劣化・ひび割れなどによって点数が低いブロック塀が多数あったため、総合的に判断してブロック塀の改修工事を行う。



地域福祉分科会

議案第49号 平成29年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

○子ども医療費 6億9,085万6,575円

(概要) 子ども医療費助成制度は、対象者が医療機関を受診した際に支払った自己負担額(医療保険適用分に限る)を助成した制度。

質疑

子ども医療費の現物給付(0歳から3歳の窓口負担なし)を平成29年4月から実施したことによって、診療状況にどのような影響があったのか。

答弁

平成29年度の一人当たり助成額の伸び率は、前2カ年の平均と比べ、現物給付に相当する市内診療分で13.8%、償還払いに相当する市外診療分で7.5%となっている。

市内診療分の方が高い伸び率になっているが、現物給付の影響によるものかどうかは不明である。

産業建設分科会

議案第38号 平成30年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)

○公園・緑地の維持管理に関する諸経費 540万円

(概要) 大阪府北部地震で発生したブロック塀の倒壊による死亡事故を受け、市が管理する公園に設置されているブロック塀のうち、緊急調査で不具合の見つかったブロック塀の撤去・改修を行おうとする経費。

質疑

公園に設置されているブロック塀で、撤去・改修の対象になるものは何箇所か。また、撤去した後はフェンスなどを設置するのか。

答弁

6公園のブロック塀を撤去・改修する。2カ所については、空洞ブロックの門柱のみであるため、撤去する。残りの4カ所については、ブロック塀を撤去した後に同等の長さのフェンスを設置する予定である。



討 論

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。(討論順)

< 議案について >

橋詰 圭一議員 (日本共産党)

議案第 49 号に反対 その他議案は賛成

議案第49号について、市民が書類にマイナンバーの番号を記載しなくても問題なく受理され、不利益は何もないということになっているが、マイナンバーの使用を市の判断で行える余地があるにもかかわらず、国からの押

しつけに従って行っている。また、教育施設や福祉施設などの老朽化への対応が非常に遅れている。市財政を圧迫している臨時財政対策債の解決を強く国に求めるべきである。市として進めるべき事業も、財政問題を理由に先送りするだけでは解決しない。具体的な実施計画と、集中的に取り組むための体制、予算化への取り組みを求めて反対する。

池上 茂樹議員 (公明党)

全議案に賛成

議案第38号の土木費3,500万円は、小中学校周辺6路線の狭い道路の側溝整備と蓋を設置する事業であり、通学路の安全対策として評価する。議案第47号について、新設される西条保育所の建て替え工事は、公立で初となる病後

児保育も行え、他の園児と出入り口も別で感染症対策も講じられている。また、一時預かり保育も新設される。今後、利用者寄り添った運営を求める。ティーンズミーティングで「避難所となる体育館の環境を改善してほしい。」と切実な意見をいただいた。収容避難所となる学校の体育館、また熱中症対策としての幼稚園へエアコンの設置を強く求める。

中西 大輔議員 (すずか倶楽部)

全議案に賛成

議案第38号の漁港管理費について、県管理の海岸漂着ごみも含め、市民の声も聞き、事業に取り組むべきである。議案第44号から議案第46号について、AGF鈴鹿体育館の運用方針の策定に取り組むべきである。議案第49号について、中高生などにも分かりやすい、

財政状況や将来の課題についての説明と解説の機会を持ち、若い世代の参画機会を増やすべきである。職員力の一層の向上を。台風などの影響がある地域で、地区防災計画策定の取り組みをすべきである。地域づくりを進めるなら、教育、福祉、防災、行政運営について、行政内で政策の連携を取り、市民にも分かりやすく、議会にも説明できる取り組みを求める。

後藤 光雄議員 (すずか倶楽部)

議員発議案第 1 号から議員発議案第 3 号に反対

議員発議案第 2 号について、意見書の趣旨である全ての子どもたちの学ぶ機会を保障するという点に異論はないが、この意見書は貧困家庭の子どもたちの学ぶ機会にのみ言及している。日本国憲法第26条に子どもには教育を受ける権利が、親には教育を受けさせる義

務が規定されている。欧米では、子ども自身に受ける権利と義務を保障しているため、就学の時期を子どもの心身の発達に合わせている教育システムが見られる。しかし、日本では親に義務を課しているため、7歳になる生後6年目の4月にひとしく就学させなければならない。子どもの心身の発達、能力に応じて教育を受け始められるシステム変更を加味した、学ぶ機会を保障する意見書にすべきであると考え反対する。

< 請願について >

中西 大輔議員 (すずか倶楽部)

請願第 3 号、請願第 5 号に反対 その他請願は賛成

請願第 1 号について、「当分の間税率」を廃止、税制を簡素化して負担を下げること、タックスオンタックスの改善に賛成。請願第 3 号について、平成29年3月に成立した法律を参酌すべき。公財政支出の比較では、平成29

年5月の財政制度等審議会資料のOECD諸国比較で「在学者1人当たり年間公財政教育支出は平均を上回る水準」などと提示されており、検証と精査をすべきと考え反対。請願第5号は、本市の課題であり、文中に「改築の見通しが立っていません」とあるが、本市は取り組みの途中である。請願者に教職員関係者もいるが、動きを把握しているのかも確認すべきと考え反対。

平畑 武議員（新緑風会）

請願第2号から請願第5号に賛成

請願第2号について、義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実、国庫負担率が3分の1に引き下げられている現状から重要な課題と考え賛成する。請願第3号について、学校教育の質の向上を図り、教員が一人一人の児童生徒と向き合う時間を確保するために

少人数学級の実現と教職員定数改善を求め賛成する。請願第4号について、親の所得格差が教育に影響していることから、子どもの貧困対策の推進が必要と考え賛成する。請願第5号について、南海トラフ巨大地震発生時の本市の最大震度は7、津波の高さは最大6メートルと想定されている。これに対応できる防災対策の充実は待ったなしの状況といえ賛成する。

議決一覧（9月定例議会）

【賛成：○ 反対：×】

議案	会派名 ()は所属議員数	リベラル	自由	新	市	公	日	大	す	議決結果
		鈴鹿	市民	緑	民	明	本	志	ず	
		(6)	(6)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)	(2)	
議案第38号	平成30年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	平成30年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第40号	平成30年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第41号	平成30年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第42号	平成30年度鈴鹿市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第43号	鈴鹿市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第44号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第45号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第46号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第47号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第48号	市道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第49号	平成29年度鈴鹿市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
議案第50号	平成29年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第51号	平成29年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第52号	平成29年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第53号	平成29年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第54号	平成29年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

(次ページへ続く)

議案	会派名 ()は所属議員数	リベラル	自由	新	市	公	日	大	す	議決結果
		鈴鹿	民主	緑	民	明	本	志	ず	
		(6)	(6)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)	(2)	
議案第55号	平成29年度鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 認定
議案第56号	平成29年度鈴鹿市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第57号	鈴鹿市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第58号	鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第59号	鈴鹿市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第60号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
委員会発議案 第3号	平成31年度税制改正における自動車関係諸税の見直しに関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
委員会発議案 第4号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議員発議案 第1号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議員発議案 第2号	子どもの貧困対策の推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	※1	〃
議員発議案 第3号	防災対策の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	〃
請願第1号	平成31年度税制改正における自動車関係諸税の見直しに関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第2号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
請願第3号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	×	〃
請願第4号	子どもの貧困対策の推進を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	※2	〃
請願第5号	防災対策の充実を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	×	〃

※1、※2 後藤光雄議員は反対、中西大輔議員は賛成。

議長は原則として採決に加わりません。

会派等構成員一覧

リベラル鈴鹿	森田 英治	中村 浩	板倉 操	大窪 博	伊東 良司	平野 泰治
自由民主党鈴鹿市議団	森 喜代造	野間 芳実	矢野 仁志	宮木 健	森 雅之	山中 智博
新緑風会	宮本 正一	大杉 吉包	山口 善之	平畑 武		
市民クラブ	大西 克美	原田 勝二	市川 哲夫	藪田 啓介		
公明党	池上 茂樹	藤浪 清司	船間 涼子			
日本共産党	石田 秀三	森川ヤスエ	橋詰 圭一			
大志の会	明石 孝利	今井 俊郎	永戸 孝之			
すずか倶楽部	後藤 光雄	中西 大輔				
無所属	水谷 進 (議長)					

※採決時の会派等構成員一覧です。

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

自由民主党
鈴鹿市議団

野間 芳実 議員

末松市長がめざす「笑顔あふれる鈴鹿の未来づくり」について

(質問) 末松市長のこれまでの2期8年間の実績を踏まえ、市長の今後の市政運営に対する思いについて尋ねる。

(答弁) 2期目の市政運営に当たっては、鈴鹿市総合計画2023に、中長期的な視点から施

策などを掲げ、市政を前進させることに取り組んできた。今後は、後期基本計画の策定を進めていく過程において、各地区における地域づくりの取り組みを支援するとともに、行政力のさらなる向上を図り、一体感を持って施策などを推進していく。本市を取り巻く課題に対して、2期8年間の実績を生かし、次期の4年間においても、未来の鈴鹿市が笑顔あふれる都市であり続けるために、市政の一層の向上が図られるよう、全身全霊で取り組んでいきたいと考える。

公明党

藤浪 清司 議員

障がい者雇用について

(質問) 本年4月から障がい者の法定雇用率が引き上げられ、対象事業主の範囲も広がった。本市の法定雇用率は達成しており「就労マルシェ」などで障がい者雇用に取り組んでいる。一方、残念なことに中央省庁や三重県教育委員会で障がい者雇用数の水増しが判明した。障がい者雇用の取り組みと効果、市の

雇用実態チェック体制について尋ねる。

(答弁) 本市の独自政策として、農作業実習体験を行う「農福連携事業」、「障害者等職場体験実習費助成金交付制度」、「就労マルシェ」がある。農福連携事業では1人、職場体験実習では6人が一般就労につながり、就労マルシェの過去5回の集団面接会では、延べ607人が面接し、63人が内定を受けた。本市の職員雇用については、労働局のチェックシート内容を確認し、障害者手帳などの所持の確認を行っている。

リベラル鈴鹿

中村 浩 議員

学習能力について

(質問) みえスタディ・チェックの結果を見ると、鈴鹿市は県平均と比べて低いのが、現状をどのように捉えているのか。また、県内での順位および何が足りないのかを問う。

(答弁) みえスタディ・チェックの結果から、各学校が子どもたちの強み・弱みを分析し、課題の解消に向けて今後の授業改善に学校全

体で組織的に取り組むことが重要であると考ええる。県内の順位については、序列化や過度な競争を目的としているものではなく、子どもたちの学習内容の定着状況の把握や教員の授業改善などが目的であるため、公表されているのは県全体の状況のみであり、順位は提供されていない。子どもにとって分かりやすい授業を行うために、教員一人一人の授業力の向上、家庭学習の量と質の充実を図っていくことが必要であると考ええる。

その他の質問 ○地域づくり協議会について

新緑風会

宮本 正一 議員

鈴鹿市の人口と定住促進について

(質問) 人口減少は鈴鹿市の持続可能性に大きな影響を及ぼす課題である。定住人口確保に向けたさらなる取り組みの必要性を問う。

(答弁) 人口減少を意識し総合計画2023を策定。国立社会保障・人口問題研究所が行った2040年の将来推計人口は計画当初の188,440人から、さらに約24,000人減少し164,586人。

計画上の企業立地に伴う新規雇用者数は累計で611人。本年度は鈴鹿市移住促進パンフレット「鈴鹿暮らし」を首都圏、中部圏、関西圏での移住相談会や企業説明会、子育て支援イベントなどで活用している。現在は求職者有利の売り手市場の影響により、本市の就労や雇用支援事業の利用は減少傾向。平成30年度中に移住・定住に向けたワンストップ窓口の役割を果たす移住促進ポータルサイトを開設予定であり、子育て関連情報についてもインターネットなどを活用した情報発信の在り方を検討中である。

すずか倶楽部 中西 大輔 議員

気候変動への取り組みについて

(質問) 大きな災害を招く気象が頻発する時代、気候変動の時期と認識すべきである。今年12月1日に施行される「気候変動適応法」では、市町村も地域気候変動適応計画を策定するよう努めるものとあるが、計画策定の考えはあるか。気候変動に伴うリスクマネジメントは、危機管理部が中心と考えるがどうか。

(答弁) 適応策については「しあわせ環境基本計画」の改定時期である2022年度を目途に、環境基本計画に盛り込んでいくことを検討する。

気候変動への適応については、基本的に、所管する部署が、通常業務の中で、それぞれの分野についての危機管理対策を行っていき、担当の部署だけで対応ができない、計画が作れない状況になれば、危機管理部が入る考えである。

その他の質問 ○学校等への断熱等の対策について

市民クラブ 原田 勝二 議員

沿岸津波避難対策について

(質問) 津波避難高所場所空白地域の対策について問う。

(答弁) 議員提案の高台公園や、歩道橋型津波避難タワーについては、現段階としては整備計画を持ち合わせていない。

今後、災害時要援護者の増加に対して、避難ビルを確保することが困難になった際には、

あらためて検討していきたい。



市内の津波避難ビル28カ所の分布

大志の会 今井 俊郎 議員

台風21号における鈴鹿市の対応について

(質問) 長時間停電による市民生活の混乱で見えてきた今後の行政の課題や反省、対応など、どのように検討するのか。

(答弁) 本市における電気事業者である中部電力株式会社と、停電時における対応について協議を行っていく予定で、庁内においても停電時における課題や、緊急速報メールの運

用について検討を行う予定である。また、停電時における避難所開設状況や給水ポイント情報などの生活情報は、現在の緊急速報メールの利用規約では配信可能項目に含まれていないが、生活情報は市民の方々にとって重要な情報となるので、今後も情報の発信について検討していく必要があると考えている。今回の台風を教訓とし、今後の災害対策に反映させていきたいと考えている。

その他の質問 ○平成29年度決算について

大志の会 永戸 孝之 議員

教育施策に絡む財政健全化への取り組み

(質問) 財源状況は厳しさを増しているため、国庫支出金、県支出金の積極的な活用が必要と考える。経常収支比率(94%)からも分かるように財源の硬直化が著しく、課題解決や新たな施策への活用財源がない。国・県支出金の情報をもれなく集約する活用体制は図られているのか。

(答弁) 国・県支出金に関しては、補助制度の内容把握のため通知、ホームページなどの機会を通して情報収集し、事業推進に即した積極的な活用を図っている。補助制度のさらなる活用促進のため国・県への要望、提言活動も実施している。具体的には各部署に対し制度的改善、財政的支援、国・県の事業推進を求める事項のほか、制度創設を求めるものなど幅広く提案を募集し、要望提案を行っている。

その他の質問 ○公共施設工事等の入札制度について
○有害動物駆除について

リベラル鈴鹿 板倉 操 議員

公共の建築物の事業手法について

(質問) 合川分団車庫待機所整備事業について公共の建築物で建設・リースが一体となった手法に違和感がある。この手法を選んだ経緯、また発注課が消防総務課で建築専門外の部署が品質確保に責任が持てるのか。ホームページの入札公告掲載場所で公告されていない。さらにプロポーザル方式で業者選定をし

ているが、この方式の適用ガイドラインを策定する必要があるのではないか。

(答弁) 地元消防団活動への影響を考慮し工期短縮と経費削減となるリース方式となった。一般競争入札の建築物は契約検査課で検査し品質を確保しているが、リース契約完了後に建築物の引き渡しを受ける場合、現在は、検査の対象外である。本案件を含め契約検査課の検査、公告掲載の体制及びプロポーザル方式の適用基準の整備などについて検討する。

その他の質問 ○生活困窮者自立支援制度について

公明党 船間 涼子 議員

災害の対応について

(質問) 頻発する災害に対応するため、本市の対策の強化が必要と考える。小中学校の窓ガラス飛散防止フィルムの設置、避難所となる学校体育館でのエアコンの整備や、外見では分かりにくい障がいのある方が援助や配慮を得やすくなるヘルプマークの配布。さらに、備蓄品として、お湯が不要で常温保存が可能

な乳児用液体ミルクの導入を求める。

(答弁) 窓ガラスの対応は、今後も国・県の交付金などを最大限活用し対策を講じる。体育館へのエアコン設置は困難であるが、代替策として災害時における避難所用電器資機材等の設置支援に関する協定の締結により、扇風機や電気ストーブなどの支援が可能となっている。ヘルプマークは10月から、障がい福祉課・健康づくり課・地区市民センター窓口で配布して普及に努める。液体ミルクは価格や保存期間などを考慮し導入を検討する。

公明党 池上 茂樹 議員

教育委員会の考え方について

(質問) 今、子どもたちが学校へ持っていくランドセルやカバンの重さが問題になっている。教科書協会刊行の2017年のデータによれば、主要教科のページ数は学習指導要領の改定などにより、10年で約35%増加している。ランドセル本体やノート、文具などの重さと合わせると、小学1年生でも平均3キロから4

キロを毎日背負うことになる。宿題などで自宅の学習に使う以外の教材については、学校に置くことができるよう、市内一律で置き勉強ができるものを統一すべきと考える。

(答弁) 学校によって使用する教材なども異なるため、市内一律に置いておける物を統一することは難しいが、今後の方針として、文部科学省の通知にのっとり、学校内で統一したり、各中学校区内の小学校在歩調をそろえたり、共通認識を図るよう指導していく。

自由民主党 鈴鹿市議団 森 喜代造 議員

高齢者政策について

(質問) 災害時における高齢者の避難誘導についてどのように取り組んでいるのか。

(答弁) 自然災害には、自らが日頃から防災意識を持ち、非常時に備えることとし、災害が発生した際には、迅速な情報収集と避難行動を取ることが重要である。国が示す「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指

針」では、「避難行動要支援者」の避難支援を行うこととしていることから、本市では地域の高齢者や障害者などの避難行動要支援者に対し、災害時要援護者台帳への登録を進めている。

災害時要援護者台帳の活用方法については、市内の多くの地域で地域課題として防災対策が取り上げられていることから、今後検討していく。

その他の質問 ○不審者について
○学校教育について

日本共産党 橋詰 圭一 議員

鈴鹿市の雨水対策について

(質問) 記録的豪雨が日本列島各地に被害をもたらしている。本市での過去の豪雨災害について、検証と対策は十分か。金沢川上流での治水対策が進み流量が増加するが、下流域での治水対策は十分か。白子駅周辺の浸水対策は「鈴鹿市総合雨水対策基本計画」で具体的に示されるのか。

(答弁) 今年度中に策定する「鈴鹿市総合雨水対策基本計画」で今後の治水・浸水対策の方針と計画を示し、近年の最大雨量を用いて効果を検証する。金沢川下流域は浸水被害の影響は小さいと考えられるが、土砂の堆積や雑木の繁茂が顕著であり、河川整備の促進を三重県に強く要望していく。白子駅周辺の浸水対策は、重要度、緊急性が高く、早急に検討すべき重点地区と位置づけ対策案の検討をしていく。

その他の質問 ○乳幼児の発達とメディアの弊害について

日本共産党 石田 秀三 議員

市営プールについて

(質問) 石垣池公園市営プールは、1982年のオープン以来36年が経過し、あちこちで老朽化による破損や劣化が進んでいる。プールサイドのタイルが剥がれ、幼児用プールにある滑り台の階段はさびて、更衣室の床の樹脂性すのこは大部分が割れており、応急処置された状態となっている。循環ろ過装置も機能

が低下しており、オーバーホールが必要である。

(答弁) 次年度の開業に向け、利用者の安全を最優先に考え必要な修繕を実施する。ろ過装置の点検・修繕は早い時期に実施し、開業に支障のないようにしたい。

石垣池公園市営プール



その他の質問 ○国民健康保険について

日本共産党 森川 ヤスエ 議員

療育センターについて

(質問) 市療育センターは児童発達支援センターとしての役割を持つことから、設置当初の目的を超えて多種多様な対応を行うため、利用者、職員もおおのずと増えることになる。職員室は椅子に座ると、背中が壁いっぱい机の引き出しが開かない。療育や訓練室不足、手すりのついた廊下は机や訓練マット・滑り

台などの訓練用具置き場という状況で、手狭が著しい療育センターの改善は早急に行うべきである。老朽化している社会福祉センターと複合施設にした建て替えも視野に入れた改善の検討をしてはどうか。

(答弁) 手狭を認識しているので、廃園になった牧田幼稚園を(仮称)第2療育センターとして改修することを考えている。



その他の質問 ○青年学級への支援について

自由民主党 鈴木市議団 山中 智博 議員

行財政改革について

(質問) 「働く人の幸せこそが組織に繁栄をもたらす」との考え方は世界的な潮流で、働きがいのある会社はそうでない会社よりも業績が向上している。自治体間でも人材獲得競争が激化する現在、働きがいのある市役所であれば優秀な人材は鈴鹿市を離れ、行政サービスの停滞につながる。人事、予算、行

政評価の改革など、職員が成果を上げ満足度が向上するための環境整備が必要ではないか。

(答弁) 市職員のやりたい仕事とは、市民の方が住んで良かったと実感できるまちづくりの推進で、働きがいは、市民生活が豊かで安心なものとなった時に実感できるものとする。市民満足度を高める上では、施策を実施する職員自身の満足度の向上が不可欠。めざす職員像にある“挑戦者であり続ける人材”となるために、人事評価の精度向上、常に改善する風土の醸成、効率的な行政経営に取り組む。

リベラル鈴鹿 平野 泰治 議員

鈴鹿亀山地区広域連合の解散について

(質問) 地域包括ケアシステムの構築、さらには、これを深化させた地域共生社会づくりを目指し、介護施策とまちづくり施策を一体化し「我が事・丸ごと」の取り組みが求められているが、介護施策が広域連合では対応できない。全国の介護保険者1,571団体のうち、広域連合は27団体にとどまり、他は市町村

が単独で運営している。鈴鹿市でも広域連合を解散し、自己責任で単独運営すべき。

(答弁) 指摘のとおり、介護保険においては、地域包括ケアシステムなど制度創設からの変化に課題認識を持っている。広域連合は自治法上、本市とは別の特別地方公共団体で全国的に活用も限定的であり、行政改革の面において、必ずしもコスト縮減につながるものではないが、これまでの経緯を踏まえ広域連合と連携を図りつつ、新たな広域連携も研究していくこととしたい。

新緑風会 山口 善之 議員

市立幼稚園のクーラー設置について

(質問) 市立幼稚園のクーラーが設置されていないため園児の健康状態が心配である。幼児は汗腺をはじめとした体温調整能力が未発達のため、大変危険な状況であり、このような環境の下で、何らかの事故があつてからでは遅いと思う。早急な設置を求める。

(答弁) 現在、公立幼稚園は11園が開園して

おり、全ての遊戯室と職員室に空調が設置されている。保育室は、全11園で31部屋あり、そのうち2園の3部屋のみに設置されている。

この夏の猛暑への対応としては、熱中症対策として細心の注意を払うよう周知をし、細やかな健康管理に努めた。

今後については、園児の安全確保からも、クーラー設置の必要性は強く感じており、設置に向けて検討を進めていく。

その他の質問 ○危機管理型水位計について

市民クラブ 市川 哲夫 議員

通学路の安全性について

(質問) 通学路には構築物の劣化や運転手による事故などさまざまな危険が潜んでいる。ハード面の整備だけで安全性が保たれているわけではなく、登下校時に見られる地域、先生方の見守りがあつてこそ、子どもたちは安心して通学できている。市としてさまざまな対応、対策をしていると思うが、あらためて

通学路の安全確保について問う。

(答弁) 本市では教育委員会、県・市の道路管理者、鈴鹿警察署が連携し通学路の総合的な安全対策の基本方針を定める「鈴鹿市通学路交通安全プログラム」を平成24年度に策定し、通学路の安全対策を図っている。交通安全プログラムに基づいた危険箇所点検は、危険箇所の抽出を行い、その後、協議および点検を実施している。通学路の安全確保に向けた危険箇所の改善には、関係機関が連携し、継続的に実施していくことが重要である。

自由民主党 鈴鹿市議団 矢野 仁志 議員

津波の遡上対策について

(質問) 東日本大震災では、津波により海水が下水管を遡上し、マンホール蓋が飛散し、非常に危険であったとのことであった。本市のマンホール蓋の安全対策について尋ねる。

(答弁) 本市が設置しているマンホール蓋は、日本下水道協会により型式指定された下水道用のマンホール鋳鉄蓋を使用し、開閉操

作時に逸脱しにくく飛散を最小限に抑える構造になっており、これまで豪雨による浸水被害を受けた地域からのマンホール蓋の飛散の被害報告は受けていない。

マンホール蓋飛散の被害はないが、想定外の力により被害が発生する可能性も残っていることから十分検証していく必要があると考え、先進地への聞き取り、被害事例や研究事例を参考に被害のメカニズムの解明や対策を調査研究していく。

その他の質問 ○働き方改革関連法

市民クラブ 大西 克美 議員

南海トラフ地震の減災について

(質問) 基幹収容避難所である小学校周辺の橋の安全性、また、小学校以外の収容避難所周辺の橋の老朽化に対する調査結果について尋ねる。

(答弁) 基幹収容避難所となる小学校は、平成30年4月1日現在、30校あり、周辺の橋の数は176橋ある。平成29年度末までに158橋の

点検および健全度評価が終了し、早期に措置を講ずべき状態が1橋との結果であったが、既に補修・修繕を実施し、点検および健全度評価の結果、おおむね安全性が確保されていると判断している。また、市が管理する道路橋は905橋あり、平成29年度末までに798橋の点検および健全度評価が終了し、早期に措置を講ずべき状態が9橋のうち6橋は補修・修繕が実施済、2橋は事業を実施中、1橋は現在補修方法等の検討をしており来年度に事業を実施する予定となっている。

各常任委員会の活動状況

各常任委員会では、本年度の調査事項について、先進的な取り組みをしている他都市などへの行政視察を行いました。本市の取り組みに生かすため、行政視察で調査した内容を含め、委員会で協議し、意見を取りまとめ、市長に提言を行います。

総務委員会

- 7月18日 東京都町田市 「公衆無線 LANについて」
- 7月19日 埼玉県草加市 「公契約基本条例について」
- 東京都中野区 「公衆無線 LANについて」
- 7月20日 東京都国分寺市 「公共調達条例について」
- 10月19日 四日市市 「公契約について」
- 11月5日 桑名市 「公民連携について」



文教環境委員会

- 7月23日 東京都台東区 「学校施設の複合化について」
- 7月24日 埼玉県吉川市 「学校施設の複合化について」
- 7月25日 群馬県前橋市 「図書行政について」
- 10月17日 市内 「不法投棄の現状と取り組みについて」



地域福祉委員会

- 8月6日 千葉県佐倉市 「市民協働の推進について」
- 8月7日 東京都西東京市 「フレイル予防について」
- 東京都小平市 「認知症高齢者見守り事業について」
- 8月8日 東京都練馬区 「タブレット端末による通訳システムの導入について」
- 10月18日 亀山市 「亀山市地域まちづくり協議会条例の制定について」



産業建設委員会

- 7月30日 千葉県市原市 「交通空白地域対策について」
- 7月31日 茨城県常総市 「圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業について」
- 8月1日 埼玉県羽生市 「都市計画法第34条第11号及び12号の規定による区域について」
- 10月16日 一般社団法人三重県トラック協会鈴鹿支部 「トラック運送業界の現状について」



高校生対象議会報告会 ティーンズ ミーティングを開催しました

8月22日に議場で、鈴鹿市議会初の、高校生を対象とした議会報告会を開催しました。未来を担う子どもや若者たちの声を市政に生かすことを目的に、市内の高校6校から参加者を募り、25人が参加しました。



◆報告会の内容

【第1部】議会報告

○「予算審議の流れ」と「平成30年度鈴鹿市一般会計予算の大枠と主な事業について」

- ・資料に基づき報告した後、高校生からの質問に回答しました。

【第2部】高校生の皆さんと意見交換

- ・高校生からのさまざまな質問や意見に回答しました。

※事前に担当議員が各校を訪問して事前レクチャーを実施し、質問内容について打ち合わせを行った上で、報告会に臨みました。

参 加 校	飯野高等学校
	石薬師高等学校
	稲生高等学校
	神戸高等学校
	白子高等学校
	鈴鹿高等学校

◆高校生からの質問や意見(抜粋)

クリーンエネルギー自動車の購入補助金に関して、モータースポーツのまちとして、他の自治体より進んだシステムが必要ではないでしょうか。
(鈴鹿高等学校2年)

近鉄柳駅の防犯について、無人駅で周辺の人通りも少ないため、利用客の多い他の駅よりも防犯カメラの設置が必要ではないでしょうか。
(白子高等学校3年)

交流する機会が増えることで、活気あふれるまちになると思います。市全体の祭りまたは地域に根ざした祭りが増えてほしい。
(石薬師高等学校2年)

まちの活性化を行っていくには、多くの人が集まるショッピングモールが今以上にあると活気づくと思いますが、いかがでしょうか。
(稲生高等学校2年)

学校体育館を指定避難所として使用するには、夏は暑く冬は寒いので、避難住民にとって厳しい環境だと思います。環境を整えるための対策は。
(飯野高等学校1年)

議員の給料(報酬)は税金から支払われていると思いますが、給料(報酬)に見合った仕事をされていますか。どのようなことをされていますか。
(神戸高等学校2年)

○終了後のアンケートでいただいた意見(抜粋)

- ・一人一人異なる視点で質問を考えており、答弁もとても詳しくしていただき、疑問に思った内容の現状を正確に知ることができた。
- ・実際の議場を使わせてもらい、とても良い経験だった。
- ・議会に興味を持つ人が増えると思う。

高校生の皆さんには、緊張感が伝わる中、堂々とした態度で発言していただきました。いただいたご意見は、今後の議会活動の参考とさせていただきます。
高校生対象議会報告会の詳細な記録は、議会ホームページトピックスに掲載していますので、ぜひご覧ください。

☆速報「第10回議会報告会」

10月29日に郡山公民館で、翌30日に住吉公民館とふれあいセンターで、第10回議会報告会を開催し、9月定例議会での審議内容や常任委員会の所管事務調査について報告しました。詳しい内容については、次号第205号(2月20日号)でお知らせします。

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か



本会議や委員会などを傍聴するときは、市役所14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。傍聴の受け付けは、会議開会の30分前からです。

なお、会議開催予定は、市議会のホームページや市役所の掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名 委員会室：定員10名

音声が聞き取りにくい方に



議場傍聴席にて聞き取りにくい方には、ヘッドフォンを貸し出していますので事務局へお申し付けください。



議会に来れなくても…

CNS（ケーブルテレビ）で生放送

本会議をデジタル122chで生放送しています。放送時間は午前10時（開会時間）から会議の終了までです。

議会のホームページで録画映像配信

市議会のホームページで、テレビ中継した映像をおおむね2週間後に録画配信しています。

スマートフォン・タブレットなどのモバイル端末でも視聴できます。

もっと詳しく知るには…

会議録があります！

会議の詳しい内容については、市役所本館14階の議会図書室と4階の行政資料コーナーで閲覧できます。

なお、本会議の会議録は、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。

また、鈴鹿市議会ホームページで会議録を公開しています。

※9月定例議会の会議録は、11月下旬に配置予定です。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください

皆様のご意見をお聞かせください

市議会や市議会だよりに対する皆様のご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。今後の参考にさせていただきます。

あて先は

鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号
TEL:059-382-7600 FAX:059-382-4876
mail:giji@city.suzuka.lg.jp

議員からの寄附は禁止されています



議員（候補者を含む）が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会などの行事に、寄附や差し入れなどをしたり、祝い金（出産・新築など）や贈り物をするのは、公職選挙法などにより罰則をもって禁止されています。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

11・12月の会議日程

※日程は変更される場合があります。

11月	26日	月	10:00	本会議(提案説明)	12月	12日	水	10:00	文教環境委員会(分科会) 産業建設委員会(分科会)
	27日	火	14:00	議会運営委員会		13日	木	10:00	総務委員会(分科会) 地域福祉委員会(分科会)
12月	5日	水	10:00	本会議(質疑、一般質問)		14日	金	10:00	文教環境委員会(分科会) 産業建設委員会(分科会)
	6日	木	10:00	本会議(一般質問)		17日	月	10:00	総務委員会(分科会) 地域福祉委員会(分科会)
	7日	金	10:00	本会議(一般質問)		19日	水	10:00	予算決算委員会 各派代表者会議(予算決算委員会終了後) 広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
	10日	月	10:00	本会議(一般質問) 議会運営委員会(本会議終了後) 各派代表者会議(議会運営委員会終了後)		20日	木	10:00	議会運営委員会
	11日	火	10:00	本会議(一般質問、追加議案等、委員会付託) 予算決算委員会(本会議終了後)		21日	金	10:00	本会議(委員長報告、討論、採決) 全員協議会(本会議終了後) 議会だより編集会議(全員協議会終了後)